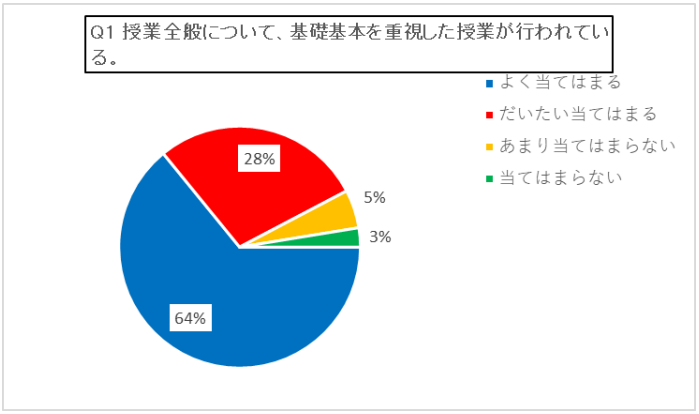
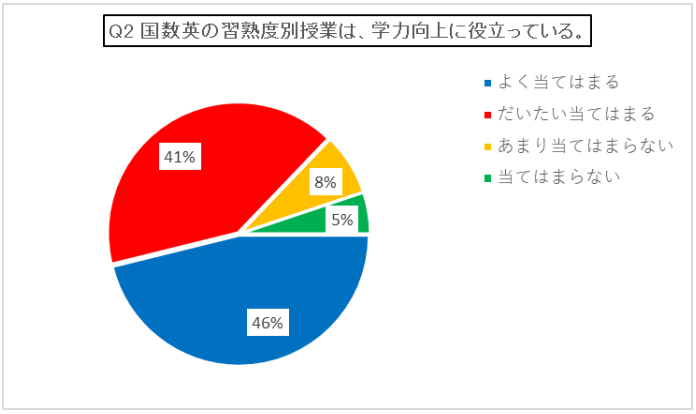
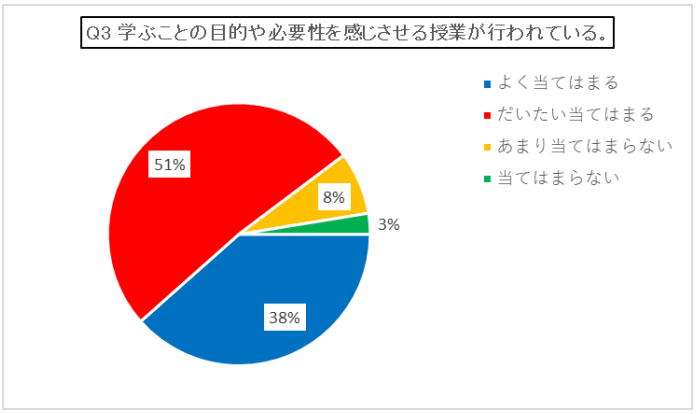
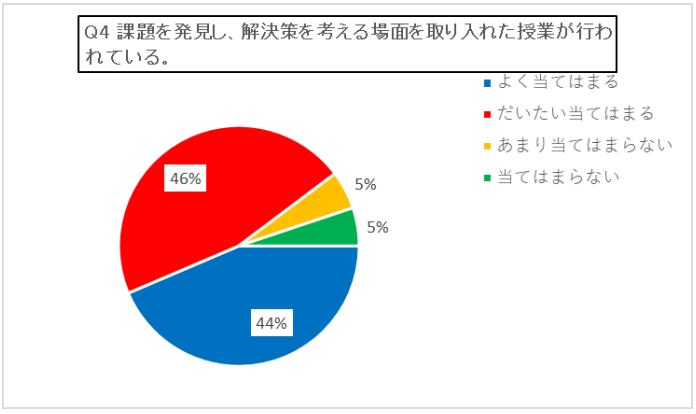
令和８年度　第１回学校評価　「生徒及び保護者回答結果」

【生徒】（回答数：39 名　回答率：97.5%）

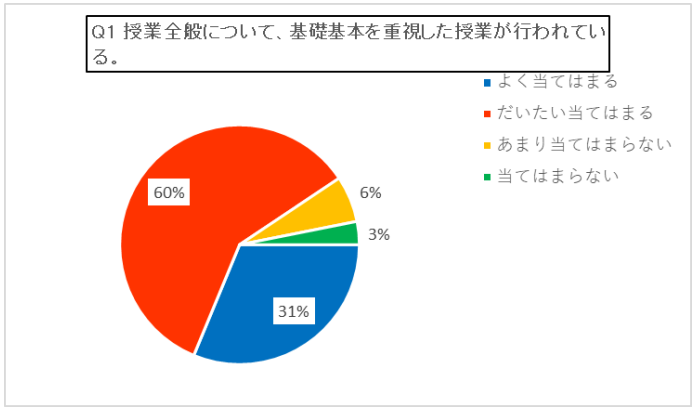


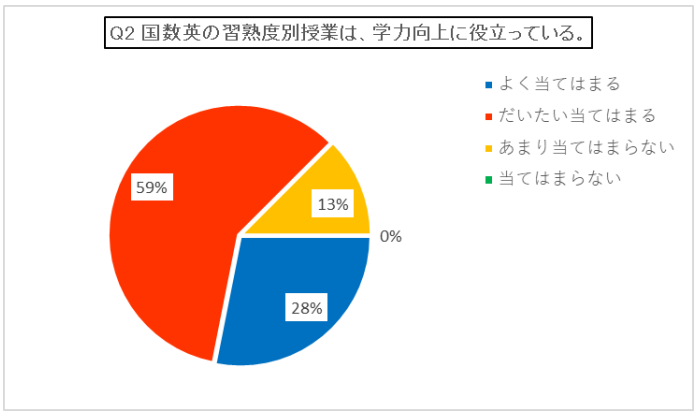


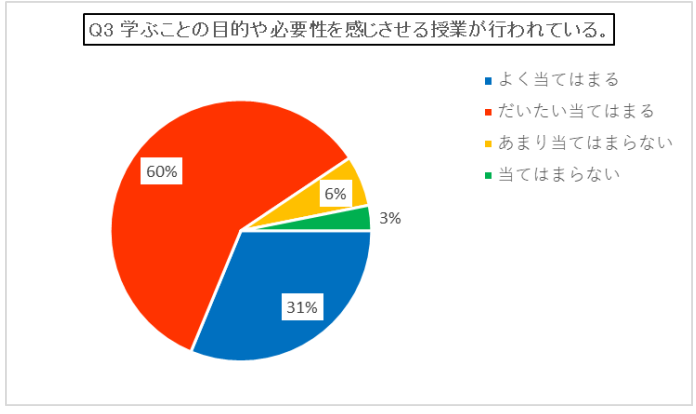


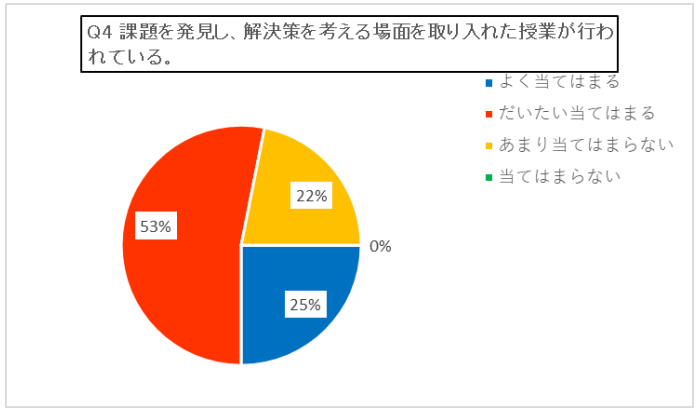


【保護者】（回答数：32 名　回答率：80%）

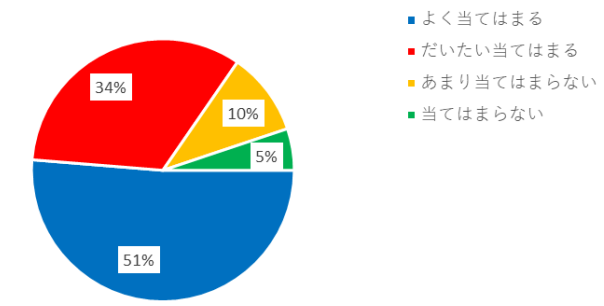




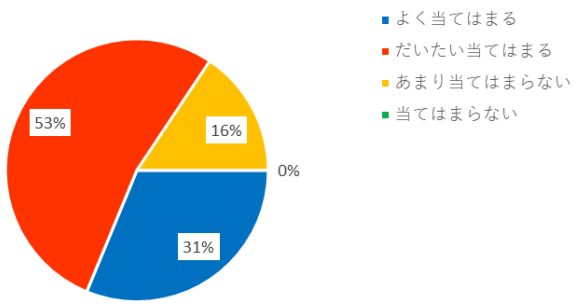




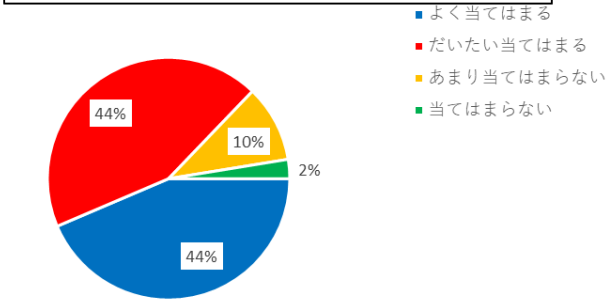
Q5 他者と一緒に考える場面を取り入れた授業が行われている。



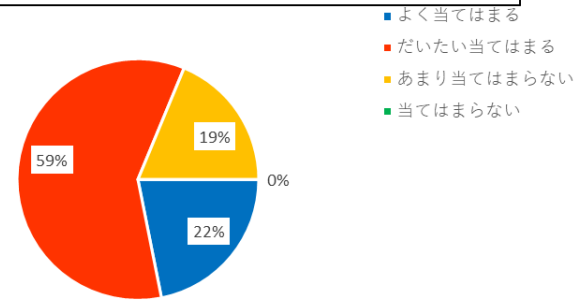
Q5 他者と一緒に考える場面を取り入れた授業が行われている。



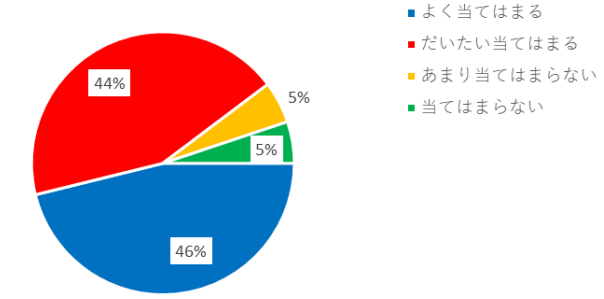
Q6 自分の行動を振り返り、評価する力を養う機会が多く設けられている。



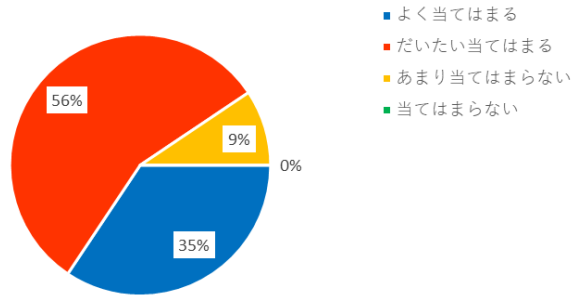
Q6 自分の行動を振り返り、評価する力を養う機会が多く設けられている。



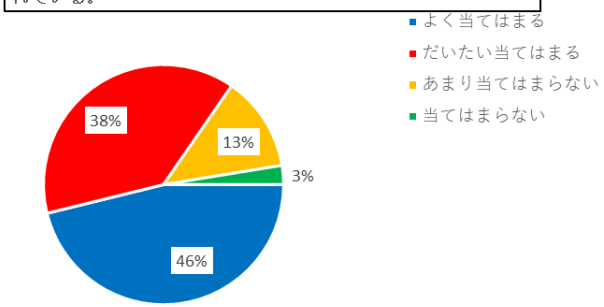
Q7 生徒が主体であることを意識できる指導がされている。



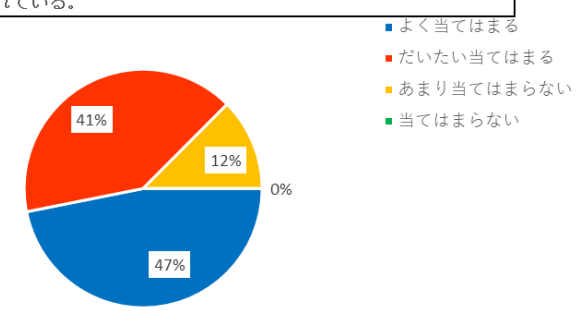
Q7 生徒が主体であることを意識できる指導がされている。

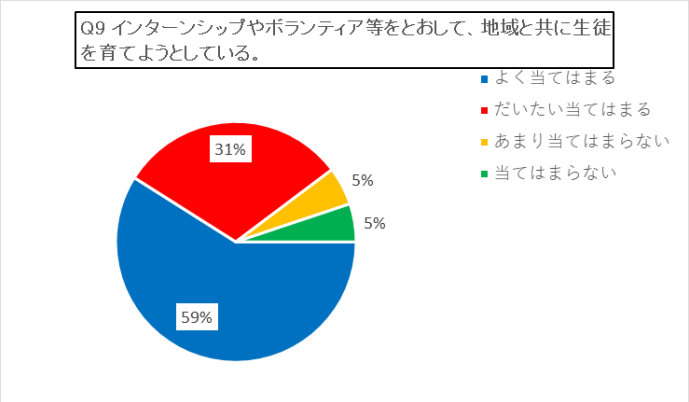


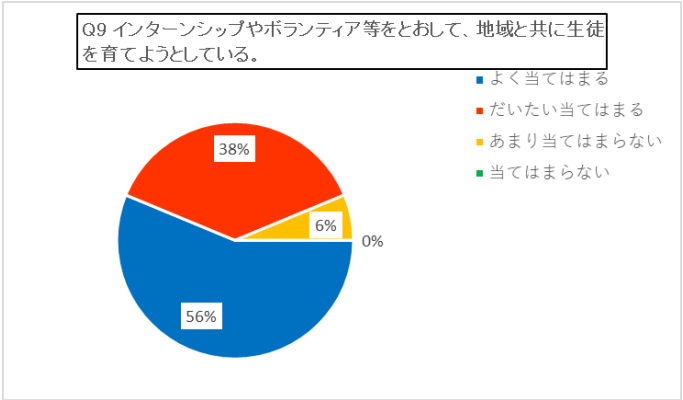
Q8 様々な活動において、生徒に判断を求める機会が多く設けられている。

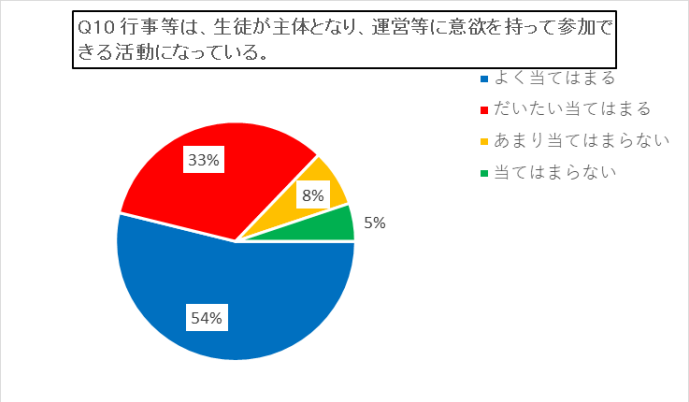


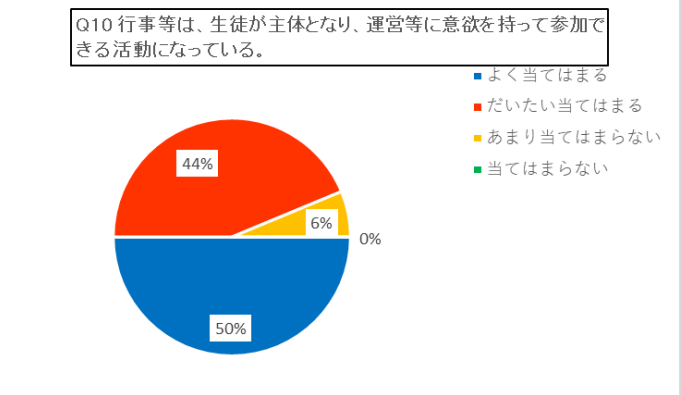
Q8 様々な活動において、生徒に判断を求める機会が多く設けられている。

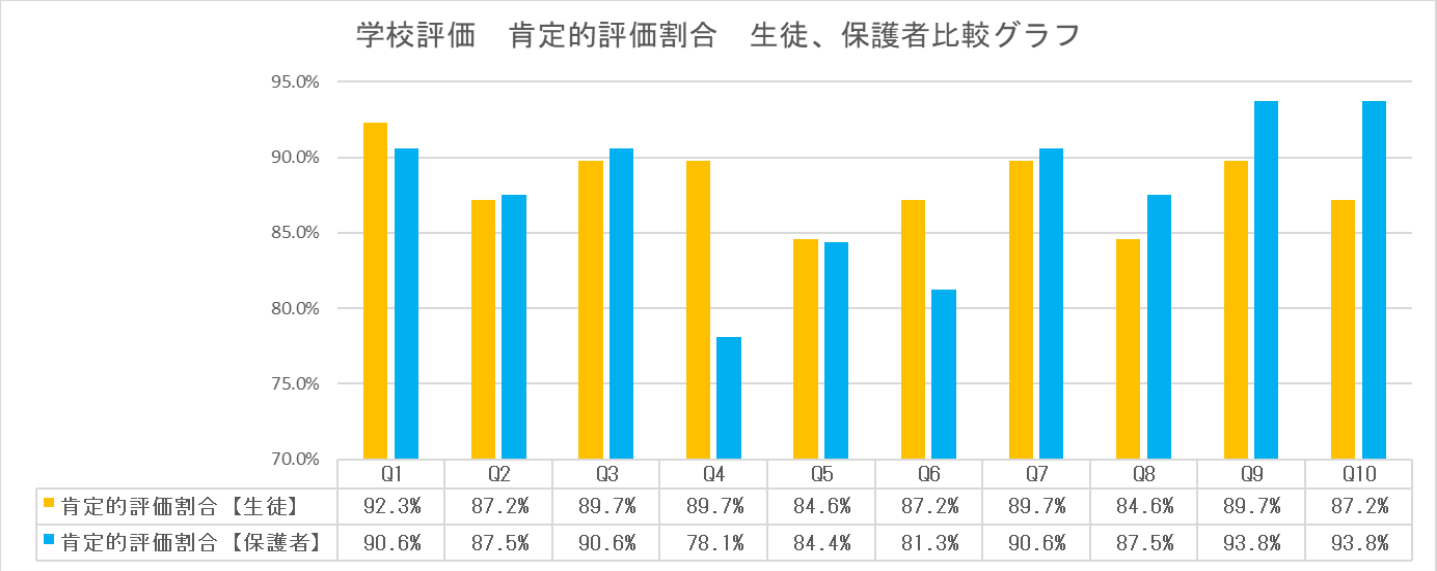












	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10
肯定的評価割合【生徒】	92.3%	87.2%	89.7%	89.7%	84.6%	87.2%	89.7%	84.6%	89.7%	87.2%
肯定的評価割合【保護者】	90.6%	87.5%	90.6%	78.1%	84.4%	81.3%	90.6%	87.5%	93.8%	93.8%

【分析】

◇どの項目も肯定的評価の割合が高い（生徒平均：88.2%、保護者平均：87.8%）

◇生徒及び保護者ともに高評価のもの（90%以上のもの）

「Q1　授業全般について、基礎基本を重視した授業が行われている。」

◇生徒と保護者の評価の乖離が大きいもの（10 ポイント以上の差のあるもの）

「Q4　課題を発見し、解決策を考える場面を取り入れた授業が行われている。」（生徒:89.7%　保護者：78.1%）

【課題】

生徒からはすべての項目で肯定的評価割合が 80%を超えた。保護者からは 1 項目を除き、肯定的評価割合が 80%を超える高評価を得た。「Q4　課題を発見し、解決策を考える場面を取り入れた授業が行われている。」の項目は、生徒の肯定的評価割合と保護者の肯定的割合に乖離が観られる。授業の様子を伝える工夫が必要だ。